



* デンマーク生活便り ⑤ *

高等学校 Gymnasium

理事長 千葉忠夫

会報5号でも既に触れたが、もう少しデンマークの高等学校教育について述べたいと思う。何故なら、デンマークの高等学校教育は単なる日本の学歴社会のために進学する意味のない高等学校教育とは全く異なるので、敢えてデンマークの高等学校教育のあり方を改めて紹介する。

高等学校は教育の義務を終了した者が更に高等教育の必要を理解し進学する学校である。したがって「猫も杓子も」進学する学校ではない。それ故この高等教育内容を理解できる者だけが進学出来るので入学試験がない。10年間の教育の義務期間中に担当教諭から高等学校進学可能か否かの判定を受けた後進学するので入学試験がないのである。

デンマークの高等学校は2007年の行政改革前までは全てが県立であったが行政改革後に県が廃止され州(Rigion)になったため、高等学校は州立とはならず、今では全て国の管轄下に置かれた。ちなみに、以前14県(Amt)と275の地方自治体(Kommune)が存在したが現在は5州98の地方自治体となっている。

デンマークには教育委員会は存在しないが学校運営委員会(理事会)があり、この理事会が学校運営を仕切るのである。理事会の編成は高等学校関係者以外(国立大学副学長、市長、市会議員等)の者5名、高等学校教職員2名、生徒代表2名である。高等学校の校長は理事会の秘書的役目を担当するものの投票権を持たない。生徒代表2名の内1名は18歳以上でなければならない、何故ならばデンマークでは18歳を以って成人としているからである。

デンマークの高等学校には以前、語学系と数学系の二つのコースしか存在しなかった。現在は加えて商業高校、工業高校、そして一旦中卒で就労した者などで大学進学を目指す者を対象にしたHF課程(大学進学に必要な科目を履修する)高等教育、ならびに大学入学資格を得る大検に相当する制度がある。昔からの伝統的な高等学校への進学率は相変わらず約30%、他の

高等教育への進学率は約25%、あわせてデンマークの高等学校進学率は約55%となる。残りの45%は職業別専門学校へ進む。この職業別専門学校の教育制度は注目に値する。日本では美容師、調理人、車の整備士、ホームヘルパー等の全ての職業訓練教育を受ける前に「高等学校卒」の学歴を単なる学歴社会のために必要とされる。この馬鹿らしい教育制度の矛盾を私たちは知るべきである。前述した各種職業技術を得るためには高等学校卒の学歴は無用なのである。若者が希望する職業は中卒後職業別専門学校で受ければ十分であり、この教育制度は家庭、社会(国家)にとっても如何に経済的であるか察しが付くと思う。何よりも次代を担う子供たちを虐めないですむことと、将来の望むべき日本国民の育成に繋がるのである。単なる学歴社会のために高等学校卒業資格を必要とするのであれば、各種職業別専門学校(修業年限3年)卒を持って商業高校、農工高校卒と同様の資格を与えれば良いだけのことである。私たちはこれ以上私たちの老後を支える若者たちに「高等学校だけは卒業しなさい」などと若者に無理強いをし、若者を虐めないことを認識すべきである。国の大切な資源である若者をしっかり育てよう。勿論、私は学問の必要性を否定する者では決してありません。学問はその学問を必要とする人が受けるべきものであると理解している。これからの日本国再建を憂うとき、現状の日本国の教育制度は弊害が多すぎると思う。この弊害に日本国民はいち早く気づき、真の教育とは何かを理解して欲しいと願う。

「国家百年の計は教育にあり」住みよい幸せな国づくりを目指す私たちのNPOの目的実現のためには全ての日本国民が教育のあり方、真の教育とは何かを今こそ理解しなければならない時であることを問う。



Nord Fyn 高等学校の図書館

* Nord Fyn 高校生が松本を訪問 *

報告者 茂木俊郎

10月10日から一泊でデンマークのノアフュン高等学校の生徒7名がコート校長の引率で松本にあるエクセラン高等学校を訪問、同校の職員生徒と短時間ながら交流をもちました。

今回の訪問に至る経緯と交流の様子をご紹介します。

【エクセラン高等学校】今年創立60周年を迎えた同校は普通科(募集定員90名)美術科(同15名)福祉科(同15名)の、こぢんまりした私立高校です。普通科は園芸・生活文化・環境科学・国際理解の4コースに別れています。台湾に提携校があり、美術科はフランス、福祉科はオーストラリアへの修学旅行を実施するなど、国際交流の意識が高いことも特徴です。

【経緯】昨年1月デンマークに滞在していた私は、故郷長野県で千葉さんの講演会がほとんど開かれていないことに思い至り、エクセランでの講演会を打診しました。快諾を得て五味校長に連絡したところ、同校ではこれを60周年記念講演会の一環と位置づけ、さらに栗田理事長は千葉さんの著書を自費で購入して全職員に配布するという熱意を見せられるほど、デンマークに高い関心を示されました。

今年五味さんのたってのご希望で日欧文化交流学院を訪れ、視察の一環としてノアフュン高校を訪問しました。コート校長と話す中で、同氏が秋田の提携校との交流のため10月に来日すると知り、可能なら松本も尋ねて下さいと言うと、生徒たちを秋田に届けてしまえば時間が出るので是非訪ねようとのことでした。

8月、なかなか連絡が無いので千葉さん経由で確認すると「生徒7名と一泊で行くのでホテルを確保して欲しい。」と、予想外に嬉しい回答が来ました。コートさん一人をお迎えするつもりでいたので、予算面でも交流計画の策定でもエクセラン高校には大慌てさせてしまったと思いますが、校長、理事長の決断でノアフュン側の希望を実現できました。

【第1日】成田空港から直行した一行を松本駅に出迎え、3時半過ぎに駅前のホテルにチェックイン。4時から松本市内と松本城を歩いて見学してもらいました。

さて、皆さん。デンマークの高校生たちが一番興味深く眺めたのは、日本の何だったと思いますか。蔵造りの建物やお城、店頭の着物にも

大いに興味があるようでしたが、一番不思議そうだったのは電柱と電線でした。ヨーロッパでは電線は埋設されているのが普通なので、初めて見る光景だったのでしょうか。盛んに上を向いてカメラに納めていました。また何人かはお堀に泳ぐ鯉を見て歓声を上げていました。

夜はエクセラン高校主催の歓迎パーティーで会席料理を楽しんでもらい、自己紹介やプレゼント交換をしました。ノアフュンの生徒たちは自分が何を学び将来何を目指しているかをしっかりと大人の言葉で語り、私たちを感心させました。



【第2日】一行をエクセラン高校に迎え、朝のホームルームの間に理事長室で歓迎の挨拶と、記念品の贈呈、日程の説明を済ませました。旅程を確認できるのが遅かったため、クラスや学年単位での交流の場は作れませんでした。教頭、教務主任の案内で授業を見て回り、教室にも自由に入って、授業の妨げにならない限り生徒と話すという形で、時間の許す限り交流の様子には格別興味を持ったようでした。

最後に地方メディアの取材を受け、一行は秋田へと向かいましたが、皆さん満足そうでした。事実、一行の帰国後デンマークでコートさんにあつた人々の話では、とても喜んでいたということです。両校の交流が来年以降も続くことを期待しています。



* Nord Fyn 高校を訪問 *

報告者 末廣貴生子・野屋敷いとこ



自由に使用できるパソコンが並ぶロビー

校舎へのエントランス通路でキルケゴール・アインシュタイン等、偉人たちの彫刻が出迎えてくれるノアフィン高校を訪問しました。

松本市を訪問直後のコート校長の案内で開放感ある校内を見学、生徒たちはのびのびとした雰囲気でしたが校内には落書きひとつなく自由と規律をわきまえていることが伺えました。

教授の資格を持つ校長の教育目的は民主主義を教えること、金曜の夜はパーティーを開催し社会的行動規範も教えるのにこやかにお話してくださいました。

各教室は黒板をホワイトボードに取り替え、天井にはパソコンと接続されたプロジェクターが備え付けられて最新でした。またロビーの壁にはパソコンが備え付けられていつでも自由に使用できます。以前に当研究所の理事が「デンマークの生徒たちは自由にパソコンを利用して怪しいサイトへのアクセスやゲームに熱中する心配はないのかと質問すると、そういう生徒がいればそれは指導する側の問題と教師から答えがあり感心した。日本は規制される。」と言っていたことを思い出しました。教師の教育への姿勢が確立していることを実感いたしました。

職員室はカフェ的であり日本の職員室とは雰囲気も機能も全く違うものでしたが、教師の教育への姿勢は教師達が幼少時から受けてきた「自己の確立・連帯と共生・民主主義」と「人との信頼関係」の教育の積み重ねに加え、教員養成大学で誇りある専門職として育てられてきた成果かもしれません。

卒業試験合格証の赤いライン入り白い帽子をかぶった生徒たちの写真の表情は自信と希望にあふれ、目が輝き生き生きとしています。この高校学校に入学し卒業できることを名誉にしていることが私たちにも伝わってきました。

* 懇談会 in 関西 *

報告者 田村啓子

初めての関西懇談会が平成24年11月6日(火)午後6時から8時半まで、メルパルク京都2階レストラン「円山」で開催されました。東京・大阪・兵庫・京都・滋賀・奈良の各地から、会員・一般の方を含め15名の参加がありました。現在当研究所では、活動を活性化する方策として、地域組織(支部)制の導入が検討されており、手始めに関西地域でも懇談会を開き、皆様のご意見ご要望をお伺いしたいと企画したものです。

皆様からは、このような会が開催されるなら、是非参加したいというご意見や、特に千葉理事長の同席があれば参加したい人が自分の周りにも沢山いるのご意見など、関西でも関心のある方が大勢いらっしゃるのことがわかりました。また参加者の皆さんにも、この日本を住みよい国にしたいという思いがあり、そのための協力はしたいと言う頼もしいご意見も頂きました。

今年9月に、日欧文化交流学院の短期福祉研修を体験され、「千葉さんのホイスコーレで学び、その考え方に賛同した」という熱い思いの方が大勢参加されました。また、高齢者福祉、障がい者福祉、保育園、国民学校などの現状を知ることも出来ました。今回の参加者は、実際にデンマークで研修された経験のある方ばかりで、デンマークの学ぶべき所の紹介と、その民主主義に基づいた社会形成を日本でどのように構築したら良いかなどのご意見もありました。今後、日本を住みよい国にするための効果的な具体策をもっと深く話し合う機会を作ることが望まれ、関西では、このような懇談会を四半期毎(次回は平成25年2月)に開催するほか、5月には研修塾を京都でも開きたいとの要望が出されましたので、実現に向けてプランをまとめたいと思っております。



* 真の民主主義とは ⑤ *

理事 前田正志

皆さんは物事を決めるときに周囲の影響から何となく自分の本意と違う決定をしてしまう事が多いのではないのでしょうか。特に日本の場合には組織内の暗黙のプレッシャーが強いのでこの傾向が顕著なようです。企業の不祥事などで世間では到底通用しないような信じがたい決定がされていたケースは多々見られます。しかしながら、最後に責任を負うのは決めた本人です。第3回でも述べましたが、国をはじめとする組織が個人を犠牲にしてはなりません。「天網恢恢（てんもうかいがい）疏（そ）にして漏らさず」という言葉があります。天の網はいかなる悪事も漏らしません。周囲からの無言の圧力には批判の精神を忘れずに正しい決定をしていくことが大切です。

【第5回の実践】

周囲に流されること無く、常に謙虚な批判の精神をもとう。

* 通常総会のお知らせ *

2013年度通常総会の開催日が決まりました。

☆ 2013年5月11日 土曜日

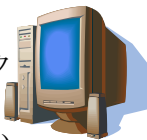
会場は、前回の総会と同様TKP小伝馬町ビジネスセンター（中央区日本橋小伝馬町1-4）にて行う予定です。時間等の詳細は別途通知致します。

☆新ホームページのお知らせ☆

当研究所のホームページのリニューアルに伴い、URLも変更になりました。これまで以上に内容の充実に努めてまいりますのでご意見・ご感想などお寄せ下さい！新URL <http://www.djsli.com>

★オフィシャル・メールマガジンを再開

当法人に関するだけでなくデンマークや日本に関する情報も・・・ご希望のかたは、新ホームページよりご登録下さい。



編集後記：（小さな幸せ便り）

コペンハーゲンへの格安チケットを貴生子先生がゲット、二人で珍道中して幸せ気分！オーデンセ行きの電車の中で息子二人に本を読んだりゲームをしたりと上手に育児する父親の姿に感心、折鶴を差し出すと喜んで感謝された。いたるところにベビーカーや子連れの姿をみかけた。そしてスカート姿をほとんどみかけない。働く女性が国を活気づけている。二人で日本に Folkehøjskole を創りたいと夢でなく現実化を語る。貴生子脳細胞分裂が大学新設に乗り出す。今年も幸せ満杯か♥編集責任者：野屋敷いとこ

☆ 研修塾参加者募集 ☆

～Weekend Folkehøjskole in Okinawa～

・日本を住みよい国にするための方程式・

閉塞感が漂う我が国の将来を如何にして築いていくか、社会福祉先進国デンマークに学び考える実践型短期宿泊形式の研修塾です。会員の方に限らず、当研究所の活動にご賛同下さる一般の皆様のご参加も心よりお待ちしております。なお詳細は、ホームページにも掲載しておりますのでぜひご覧下さい。

第3回研修塾：下記より開講します。

☆開講日：2013年2月22日（金）～24日（日）

☆会場：「かんぼの宿 那覇レクセンター」

☆募集人員：研修施設の関係で先着20名を予定

☆参加費用：33,000円（会員30,000円）

※研修・宿泊・食費含む。飲み物代は別です。

☆研修内容：

22日 研修オリエンテーションと懇親会

23日・24日 講義・グループワーク

☆申し込み・問い合わせ先：当研究所事務局

E-mail: katze2009@live.jp

Fax : 03 (3712) 6902

☆募集期限：2013年1月22日（木）

～Weekend Folkehøjskole in Kyoto～

第4回研修塾：京都または近郊にて開講予定です。

☆開講日：2013年5月17日（金）～19日（日）

詳細が決まり次第ホームページにてお知らせします。

☆第2回 懇談会 in 関西のお知らせ☆

2013年2月5日（火）に京都にて2回目の懇談会を実施する予定です。場所等、詳細は決まり次第ホームページにてご報告致します。関西も輪を広げ、皆でよりよい会にしていきたいと思っておりますので、ご参加宜しくお願い致します。

☆勉強会終了のお知らせ☆

千葉（稲毛）で毎月第二金曜日に開催していた勉強会ですが、惜しくも会場の都合により終了することになりました。再開を検討いたしております。

発行所

〒274-0822

千葉県船橋市飯山満町 2-515-2

Tel: 047-462-4358

お問合せTel: 080-9414-5115

NPO法人新ホームページ

<http://www.djsli.com> (URLが変更)

オフィシャル・メールマガジン再開しました

ご希望の方は djsli@hotmail.co.jp まで

「メルマガ希望」とお申し出ください。